

2022年2月1日

NPO 法人日本ブラインドサッカー協会
事業推進部大会運営グループ

1 本方針の目的

- ・大会を開催できるよう感染対策を講じながら大会を運営する
- ・感染リスクを下げるために全ての関係者が遵守すべき内容を示す

2 大会の定義

国内大規模大会：ブラインドサッカー日本選手権、クラブチーム選手権、ロービジョンフットサル日本選手権

国内中規模大会：ノーマライゼーションカップ

3 大会関係者の定義

- ・大会運営スタッフ＝JBFA スタッフ
- ・重要ステークホルダー＝業務委託元の地方自治体関係者、大会スポンサー企業、チーム関係の来賓、JBFA パートナー企業
- ・大会運営ボランティア＝元インターン、コアボランティア、重要ステークホルダーから募るボランティア
- ・大会運営一般ボランティア＝JBFA 公式 HP 等での公募で参加するボランティア
- ・大会関係スタッフ＝演出等の JBFA からの業務委託スタッフ
- ・チーム関係者＝チームの選手、監督、チームスタッフ
- ・クラブチーム＝JBFA に登録をしている国内クラブチーム
- ・審判団＝JBFA 審判部のスタッフ
- ・医事スタッフ＝JBFA 医事部のスタッフ
- ・観客＝ブラインドサッカーを観にくる人
- ・特定できる観客＝前1週間の体調管理への協力、来場時の誓約書提出、大会後に連絡を取ることができ、重要ステークホルダーが関係する観客、みらいパートナー、青組、チーム関係の来賓
- ・不特定多数の観客＝上記以外の一般の観客
- ・メディア＝JBFA オフィシャルカメラマン、取材申請をしていただいたメディア
- ・来場者＝上記全ての大会会場に来る方

4 方向性

- ・基本的な感染症対策を徹底する
- ・3パターンの運営方針を作成し、感染状況、JBFA の全体方針を踏まえ判断する。パターン分けをされているそれぞれの項目は一律で適用するパターンを判断するのではなく項目ごとに適用するパターンを

判断することもある

- Aパターン 制限が少ない場合
- Bパターン 比較的制限が少ない場合
- Cパターン 厳重な制限が求められる場合

5. 日常生活で守っていただきたいこと

○体調管理

- ・日常的に政府や地方自治体の方針に従うこと
- ・全ての大会関係者は日常的な健康チェックを行うこと
- ・全ての大会関係者は日常的な行動記録を行うこと
- ・マスクの着用
- ・咳エチケット
- ・手指消毒、手洗い、うがい
- ・ソーシャルディスタンス

○SNS

- ・新型コロナウイルス感染症に関連した、不当な差別、偏見、SNS等における誹謗中傷等を行わない。
- ・不確実な情報を拡散したり、感染者を特定したりするような行為は厳に慎み、国や地方公共団体が発信する正しい情報に基づき、一人一人が人権意識をもって冷静に行動すること。

6. 各項目 ※表の部分はパターンによって対応が変わる部分

① クラブチームのトレーニング時の感染予防対策について

- ・全員が感染防止マナーを守ることに努めること
- ・人と人の接触を減らすことに努めること
- ・同時に同じ部屋にいる人数を減らす
- ・視覚障がい者に手引きが必要な場合は、できるかぎり同じ方向を向き、向き合わないこと
- ・発熱や風邪の諸症状がある場合は参加しないこと
- ・プレー中や、プレーを想定した練習時に発生する接触を除き、社会的距離（できるだけ 2m、最低 1m）をとること
- ・マスク着用
 - 出来る限り不織布マスクを着用すること
 - 選手、監督、コーチングスタッフ：トレーニング中以外は着用
 - その他スタッフ：トレーニング中含め常時着用
- ・*熱中症の危険がある場合は上記の限りではない。休憩をこまめにとること
- ・咳エチケット(マスク着用を含む)
- ・手洗い、うがい、手指消毒
- ・トレーニング場に手指消毒液を設置し、常時消毒できる体制をとること
- ・不用意に自分の顔、とくに目、鼻、口などの粘膜に触れない
- ・握手、ハイタッチ、抱擁を控える

- ・飲料水等の回し飲みはしない
- ・グラウンドでの唾・痰吐き、うがい等は禁止
※唾、痰吐き、うがい等は、飛沫が飛び感染の原因になるため、絶対にやめるという意識を持つ
- ・対面且つ飲食を伴うミーティングは実施しないように努める（ビデオミーティング等も活用すること）
- ・飲食をする際は黙食すること
- ・トレーニング後は寄り道をせずに速やかに帰宅するよう努めること

② 移動、宿泊

- ・移動中は全ての関係者のマスク着用を義務とする
- ・移動中の食事は対面を避ける
- ・移動の際は数グループに分けて移動することに努める
- ・貸切バス等で移動する場合は1時間に3回程度の換気をするよう努める

Aパターン	Bパターン	Cパターン
・クラブチームトレーニング、大会参加に関わらず移動方法に制限は設けない	・クラブチームトレーニング、大会参加に関わらず移動方法に制限は設けない	・クラブチームトレーニング、大会参加に関わらず公共交通機関の使用は極力避ける

*参考資料

[新型コロナ対策 空港や飛行機内のマスク着用等のお願い | ANA](#)

鉄道を安心してご利用いただくためのお客様への3つのお願い

<https://www.mlit.go.jp/tetudo/content/001350608.pdf>

③ クラブチームの大会参加に向けて

- ・大会エントリーメンバー内に感染予防対策担当者を1名設置すること
- ・チーム関係者の大会当日および大会当日を含まず前1週間の体温記録を行い、会場来場時に受付に提出すること。

④ チーム関係者の大会当日の感染予防対策

- ・会場内で定められた感染予防対策を遵守すること
- ・大会参加にあたって誓約書を提出すること
- ・大会にエントリーしているチーム関係者が「体調確認書 兼 誓約書」の「本日の体調チェック」において「いいえ」の項目がないこと。（当日朝の段階で体調不良者が判明した場合は、その関係者は来場しないこと）
- ・大会会場でのチーム間交流は原則禁止とする
- ・大会エントリーは1クラブチーム16名までとすること

Aパターン	Bパターン	Cパターン
手引きの方法に制限無し。但し手引き中は全員マスク着用を必須とする。	試合以外の移動時は手引き者：視覚障がい者=1:1になるように努めること。但し手	試合以外の移動時は手引き者：視覚障がい者=1:1にすること。但し手引き中は全員

	引き中は全員マスク着用を必須とする	マスク着用を必須とする
来場時間は、該当試合の2時間前から可能とし、試合終了後は速やかに帰宅をすること。競技関係者の観戦エリアが設けられる大会では試合後の観戦が可能	来場時間は、該当試合の2時間前から可能とし、試合終了後は速やかに帰宅をすること	来場時間は、該当試合の2時間前から可能とし、試合終了後は速やかに帰宅をすること
大会当日および大会当日を含まず、前1週間複数クラブチームでの対面での懇親会等を開催しないこと 自チーム内においては制限を設けないが、政府・自治体の出しているルールに従うこと	大会当日および大会当日を含まず、前1週間複数クラブチームでの対面での懇親会等を開催しないこと 自チーム内においては制限を設けないが、政府・自治体の出しているルールに従うこと	大会当日および大会当日を含まず、前1週間クラブチーム内または複数クラブチームでの対面での懇親会等を開催しないこと

⑤ 運営

- ・大会開催地の自治体が定める収容人数やイベント開催時間に応じて、チーム数や試合数等を決定すること
- ・会場に、非接触体温計を設置し、当日の来場者の検温ができる状態にすること
- ・会場に手指アルコール消毒液、ハンドソープ等を設置し、来場者が定期的に消毒できる環境を整えること
- ・会場にアルコール消毒液を常備し、競技備品、会場内の備品等を定期的に消毒できる環境を作ること
- ・会場に、注意喚起の掲示物を掲示すること
- ・大会運営スタッフ、重要ステークホルダー、大会運営ボランティア、大会運営一般ボランティア、大会関係スタッフ、審判団、医事スタッフ等の関係者には日々の健康記録、体温測定を要請し、行動記録をつけることを推奨する。
- ・大会運営への一般ボランティア募集は感染状況によって判断する
- ・全ての大会関係者はマスクを着用とする（※試合中の選手、ガイド、監督、審判は除く。ベンチ入り選手、スタッフはマスク着用する
- ・競技面における感染対策は各大会の申し合わせ事項に記載する。

⑥ ゾーニング

- ・ゾーン分けしておくことで、感染者が出た場合の影響範囲を限定する
 - ゾーニング①：競技関係者（クラブチーム、審判、オフィシャル）
 - ゾーニング②：観客、メディア → ゾーニング①②は導線が重ならないようにする
- ・観客を入れる場合は会場規定の座席もしくは仮設スタンドを設置すること
- ・座席スタンドには、着席場所が分かるような表示をすること

⑦ 観客の来場について

観客の来場有無についてはパターンごとに対応すること

A パターン	B パターン	C パターン
<ul style="list-style-type: none"> ・不特定多数の来場を可能とする ①前1週間の体温記録を啓蒙する。 ②誓約書を会場で提出をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定できる方の来場のみ可能 ①前1週間の体温記録を依頼する。②体温記録・誓約書を会場で提出する ③観客の優先順位としては、①地方自治体／スポンサー関係 ②みらいパートナー／青組 ③その他観客とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・無観客で実施
<ul style="list-style-type: none"> ・観客の上限について その時点で政府、自治体から出される「イベントの開催制限等」に従い来場することがきる 	<ul style="list-style-type: none"> ・観客の上限について その時点で政府、自治体から出される「イベントの開催制限等」に従い来場することができる 	

・観客には自身の座席位置を写真記録として残し、来場日の記録、イベント名の把握のために、2週間程度の保存を依頼する。事後感染が発覚した場合に速やかに対応できるよう周知案内すること

⑧ 取材対応・広報対応

メディアの来場有無についてはパターンごとに対応すること

A パターン	B パターン	C パターン
<ul style="list-style-type: none"> ①前1週間の体温記録を啓蒙する。 ②誓約書を会場で提出する 	<ul style="list-style-type: none"> ①前1週間の体温記録を依頼する。 ②体温記録・誓約書を会場で提出する 	<ul style="list-style-type: none"> ①前1週間の体温記録を依頼する。 ②体温記録・誓約書は紙媒体のものを会場で提出する
<ul style="list-style-type: none"> 取材への制限は設けない ※インタビューの写真撮影の際は、会話をしない前提でマスク着脱を可とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 取材は各会場選手1名のみとする ※インタビューの写真撮影の際は、会話をしない前提でマスク着脱を可とする。 	<ul style="list-style-type: none"> オンラインのみの対応とする

- ・すべてのメディアがJBFAへの事前申請を必須とする
- ・取材活動が許可されたメディアは、誓約書を記入し当日受付にて提出する
- ・試合会場内では、控室を利用する際は以下の要件を厳守すること
 - 上限の半分の人数までとする
 - 必ずマスクを着用する
 - 食事は不可
- ・取材活動が許可された記者については、指定されたエリアで取材活動をおこなう
- 座席を使用の場合は、指定された距離をあけて着席することとする。またJBFA広報担当者は各メディアの座席位置を指定し把握すること
- ・ピッチレベルの撮影については、JBFAが指定したエリアのみとする。その際、JBFA広報担当者は撮影位置の間隔をできるだけ2m、最低1mあけて設置し、各メディアの位置を把握する
- ・撮影者(カメラマン)はいかなる理由があってもチームベンチ付近に立ち入ることを禁止する

- ・試合後の選手の取材対応は、JBFA 広報担当者が感染症対策のルールに従い対面にて行う。
- ・メディアによる撮影は原則、選手、監督から 2 m 以上離れて行う。JBFA 広報担当者によるインタビューは 2 m 離れて行う

⑨ 来賓対応

来賓の来場有無についてはパターンごとに対応すること

A パターン	B パターン	C パターン
①前 1 週間の体温記録を啓蒙する。 ②誓約書を会場で提出する	①前 1 週間の体温記録を依頼する。 ②体温記録・誓約書を会場で提出する	①前 1 週間の体温記録を依頼する。 ②体温記録・誓約書を会場で提出する

- ・貸出物がある場合は事前に消毒や洗濯等行う

⑩ 式典

式典の開催については以下の通り

A パターン	B パターン	C パターン
<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策をしながら式典を開催することができる - 式典への参加者の人数を制限すること - プレゼンターの人数を制限すること - 握手はハグなど直接接触れる行為は行わない 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策をしながら式典を開催することができる - 式典への参加者の人数を制限すること - プレゼンターの人数を制限すること - 握手はハグなど直接接触れる行為は行わない 	<ul style="list-style-type: none"> ・対面での式典は実施しない

⑪ グッズ販売、飲食

グッズ販売の可否については以下の通り

A パターン	B パターン	C パターン
<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策をしながらグッズ販売をすることができる - 受け渡し時は手袋を着用すること - 試着はしない - 現金の受け渡し以外の支払い方法を準備する 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策をしながらグッズ販売をすることができる - 受け渡し時は手袋を着用すること - 試着はしない - 現金の受け渡し以外の支払い方法を準備する 	<ul style="list-style-type: none"> ・グッズの販売はオンラインのみとする

飲食ブースの可否については以下の通り

A パターン	B パターン	C パターン
<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食専用エリアを設けられる場合は飲食ブースを出店することができる - アルコールの提供については、政府自治体の方針に従う - 飲食時以外のマスク着用を依頼すること - 黙食の依頼をすること - 短時間での飲食を依頼すること ・ 飲食エリア以外の場所での飲食は推奨しない <p>ただし、発声が無いことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため飲食時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食専用エリアを設けられる場合は飲食ブースを出店することができる - アルコールの提供については、政府自治体の方針に従う - 飲食時以外のマスク着用を依頼すること - 黙食の依頼をすること - 短時間での飲食を依頼すること ・ 飲食エリア以外の場所での飲食は推奨しない <p>ただし、発声が無いことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため飲食時間を短縮する等の対策ができる環境においてはこの限りではない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無観客で実施

⑫ 場内／場外イベント

場内／場外イベントの開催については以下の通り

A パターン	B パターン	C パターン
<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策をしながらイベントを実施することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策をしながらイベントを実施することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無観客で実施

- ・ イベントを開催する場合は、社会的距離（できるだけ 2m、最低 1m）に十分に配慮すること
- ・ イベントで使用する備品は定期的に消毒をすること
- ・ イベント運営はJBFA D&I グループの指針に従い実施すること

7.感染が発覚した際の対応 競技関係者

○感染が疑わしい場合（発熱などその他感冒症状を認める場合）

- ・ クラブチーム活動への参加を控えること
- ・ 保健所または病院の指示に従い PCR 検査実施等により陰性確認出来た場合、チーム練習、試合に合流可とする。

○陽性判定を受けた者が発生した場合

- ・ 陽性判定（含む、判定保留）を受けた者は自主隔離し、保健所等からの指導があるまで試合、チームトレーニングに参加しない
- ・ クラブチーム内に陽性判定を受けた者が確認された場合、チームの感染予防対策担当者から大会運

営グループに以下情報を速やかに報告しなければならない

(A) 該当者名 (B) 濃厚接触者の定義をみたす方のお名前

- ・保健所による濃厚接触指定を受けたチーム関係者は、保健所等からの指導があるまで試合、チームトレーニングに参加しない
- ・保健所による濃厚接触者指定を受けなかったチーム関係者は自覚症状が無く、感染が疑わしくない場合は練習または試合に合流することが可能となる

※出場試合開催日直前の陽性判定者発生に伴い、出場可否について検討が必要な場合

以上を条件に、該当者の所属するチーム代表者またはその代理の方と JBFA 大会事務局との協議をもって、試合当日の朝に試合可否を判断。

【前提】

- ・試合開始 1 時間前に、試合成立する人数が揃う場合は試合を実施

【出場可否の判断】

- ・保健所に濃厚接触者ではないと確認ができた→出場可能
- ・保健所に濃厚接触者であると確認ができた→出場不可
- ・保健所に濃厚接触者ではないと確認が取れない場合→原則試合当日の朝（自宅もしくはホテルにて他のチーム関係者と接触前）に抗原検査を実施してもらい陰性であれば出場可能
- ・そもそも接触していない→出場可能
- ・保健所の指示があった場合は上記の出場可否の判断に関わらず保健所の指示に従う

8.感染が発覚した際の対応 観客

○陽性者発生時の対応

当該観戦日が発症 48 時間前以降~1 週間以内にあたる場合

- ・観客から感染の報告を受けた場合は保健所の指示に従う
- ・陽性者が発生した旨を JBFA 公式 HP に記載。感染拡大が懸念される場合は、座席情報も公開する

※ご来場当日に会場内で体調不良者が出た場合

- ①ご自身の判断で体調不良を自覚した場合はスタッフまで申し出てください。即隔離場所へ移動。
- ②必要に応じて非接触体温計等で検温を実施。基本的にはすぐにご帰宅いただく。
- ③上記 2 点を予めご了承ください。来場可能とする。

大会名 _____ (_____ 会場)

体調確認書 兼 誓約書

* 個人情報保護の重要性を強く認識し、個人情報保護法その他の関連法令を遵守の上、本誓約書の取扱いには十分配慮いたします。本誓約書は、1ヶ月間保管した後に破棄いたします。

* 本誓約書にご記載の個人情報は、新型コロナウイルス感染者が発生した場合の感染経路追跡のために利用し、必要に応じて保健所等の公的機関への提供を行う以外、他の目的では利用いたしません。

* 万が一の場合、行政機関等への情報提供することをご了承ください。

大会7日前から大会当日まで、起床時の体温記入をお願いします。

日付	体温	日付	体温	日付	体温	日付	体温
大会7日前 /	℃	大会6日前 /	℃	大会5日前 /	℃	大会4日前 /	℃
大会3日前 /	℃	大会2日前 /	℃	大会1日前 /	℃	大会当日 /	℃

	大会当日における健康状態のチェック項目	はい	いいえ
1	平熱を超える発熱（おおむね37.5℃以上）がない。		
2	咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状がない。		
3	だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない。		
4	嗅覚や味覚の異常がない。		
5	体が重く感じる、疲れやすい症状がない。		
6	新型コロナウイルス感染症陽性とされた人との濃厚接触がない。		
7	同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がない。		
8	過去14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない。		

誓 約

健康上問題がないことを確認の上、自分自身の健康管理には最新の注意を払い大会に参加します。大会後に新型コロナウイルス感染症の疑いや陽性が明らかになった場合、直ちにNPO法人日本ブラインドサッカー協会に連絡をします。

年 月 日

氏 名： _____ 緊急時連絡先： _____

※該当箇所にチェックをお願いします。

チーム（ご所属： _____） ボランティア（ご所属： _____）
 運営スタッフ 審判団 医事スタッフ メディア
 その他（ご所属 _____）

* ご協力ありがとうございました。